

# 宝木だより

## 第15号

発行 宝木地域づくり推進協議会

宝木地域コミュニティセンター内  
〒320-0065 宇都宮市駒生町3364-29  
(宝木小学校内)

TEL・FAX 028 - 624 - 0531  
(印刷) DTP de-co Tel 090-9370-8874

(題字 北條信男氏 書)



### 写真説明(宝木団地)

宝木団地は、昭和四十五年から四十八年にかけて建設された大規模な公営住宅団地です。市営は五階建て十五棟、二階建て三十八棟、その後県営が五階建て九棟、三階建て三棟が建てられ合わせて九〇〇世帯が入居したのです。

当時は樹林や、田畑に囲まれたまさに緑の環境の中の団地として人気を博し、建設と同時に満室となりました。

しかし、その後日本の縮図のように高度成長長期に住宅を求めて出て行くものが増え、また高齢化社会に入り一人暮らしや高齢者のみの世帯も多くなり、空き室が目立つようになりました。

こうした状況を踏まえ、宝木団地自治会(会長 原田繁男)では、自治会役員や民生委員の見守り活動・声掛けを行い、また、災害時要救助者制度の運用を開始し、人と人とのつながり、絆を深め、向こう三軒両隣の醸成に努めています。

### 体育祭・宝木まつりに 宝木・陽西中生が活躍

宝木地区では、毎年十月に体育祭、十一月に宝木まつりを開催しています。このイベントは、宝木地区にとつて、地域の人々の親睦を図り、そして人と人とのつながりを醸成する大きな行事であります。

したがって、前日の会場運営、当日の行事進行・運営に当たり多くの人手が要るのです。

当地区の通学区域にある宝木中・陽西中学校の深いご理解により、ボランティアを募集していただき、多くの中学生がこれに応募して活動・支援をいただいております。ここに紙上からお礼を申し上げます。

(写真は、十一月十七日の宝木まつりにて)



### 各種団体紹介③

## 宝木地区社会福祉協議会

社会福祉協議会は、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。昭和二十八年に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき、設置されています。

宇都宮市社会福祉協議会は、昭和四十三年十一月に社会福祉法人として認可され、現在市内には三十九の地区社会福祉協議会があります。

宝木地区社会福祉協議会などの地域組織は、市の社協のように法律で定められた組織ではなく、地域住民が中心となって地域の福祉課題の解決

に向けた最善の方策や支え合いの『福祉のまちづくり』の実現に向けて、さまざまな福祉活動を展開している任意の団体で、宝木地区では、次のような活動をしています。

#### ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業

地域でひとり暮らしの高齢者を対象に会食等を通じ、地域の中での仲間づくり、孤独感の解消や必要な情報取得等生活の支えになることを目的に宝木コミセンで行っています。民生委員協議会やこぶしの会等の協力・参加により、

宝木コミセンにおいて調理し、毎回約三十名の高齢者を招待し昼食会を行っています。

この会食時には、高齢者による各交通事故の防止や振り込み詐欺の防止など日常生活の安全・安心な暮らしのアドバイス、また、合唱などをして楽しいひと時を過ごしていただいております。

#### 敬老会の開催

毎年敬老の日には、七十



五歳以上の高齢者の方を招待して敬老会を行っております。今年の招待者は一四二四名でしたが、台風のためやむを得ず中止となりました。

例年コンサーレ（青年会館）において開催していますが、大勢の方が出席され、式典後のアトラクションとして行われる地域の方々による歌謡曲や民謡・演歌、唄と三味線の伴奏による和楽踊りなどに楽しいひと時を過ごされております。

#### 福祉協力員

市の社会福祉協議会が任命した、民間の福祉活動協力者のことです。普段生活している近隣の高齢者や、障がい者などの住民へ各種福祉情報の伝達、「最近具合が悪そう」

「この家に車いすなどがあれば便利なのに」「ここ数日カーテンが閉まったまま」など住民の細やかな福祉に注意を向け、日常的な見守りの活動を行います。自治会に住民の約五十世帯に一人の割合で配属され地域のつながりを大切に、民生委員と協力して福祉活動を行います。

## 宝木まつり

十一月十七日宝木小学校において「心と心のふれあいで、安心で安全なまちづくり」をテーマに、「宝木まつり2013」を開催しました。

今年は、十回を記念して市消防音楽隊を招きましたが、宝木中学校吹奏楽部との合同演奏もあって、総数四十八名による演奏は会場の皆さんを魅了し、また、陽西中のよさこい音頭は、一体感をなし、元氣一杯・躍動感があふれた踊りで大きな拍手が湧き起こり祭りを盛り上げてくれました。飲食を提供する屋台村も出店者の心配りによりなんらトラブルもなく無事祭りを閉じることができました。



# 三自治会に市長表彰

宝木町一の三自治会（会長 大久保恒夫氏）  
 宝木町二の二自治会（会長 田村 保之氏）  
 西中丸自治会（会長 阿部 進氏）

十一月十六日市役所大会議室で行われた自治会長大会において、宝木地区から初めて三自治会が表彰されました。

この制度は平成十九年から行っているもので、宇都宮市が市民協働によるまちづくりを推進しており、特に自治会活動の活性化に取り組んでおります。この一環として地域に根差して活発な活動をしている自治会を市長が表彰するものです。

表彰された自治会は、班長会議の毎月開催、通路の信号機の設定促進、通学専用道路の整備、どんど焼きや神輿まつりなど伝統的な催事の継承開催、青パトによる防犯パトロールの実施、婦人防火クラブなど傘下団体の育成、資源回収によるゴミの減量化などなど、地域住民のための自治会、地域住民と共にある自治会活動を展開しています。



また、次の自治会長が自治会地域振興功労で表彰を受けました。

岩上光宏氏（一〇）  
 在職十一年  
 田村保之氏（二〇）  
 在職六年  
 前連合会長、北條信夫氏が地域振興功労で表彰されました。

# スポーツ少年団の紹介

## 宝木バレーボール

宝木バレーボールは「仲間たちが共に楽しく、明るく、元気よく」をモットーにして日々「一緒懸命」を合い言葉に練習に励んでいます。

現在部員は二十四名で練習を通して心身を鍛え、勝つ喜びを感じ、負けたときの悔しさを学び、また、スポーツでありますので、県大会に出場するという志を高く持って、監督、保護者、部員一丸となって頑張っています。練習日は水・金・土・日、第三日曜日で、ぜひ見学・体験に体育館にお越しください。



監督 伴 良次  
 代表 田村 信彰

## 宝木キッカーズ

宝木キッカーズは、二年生から六年生の二十八名で活動しています。サッカーを通して子供たちの健全な育成を目指し、子供たち、保護者・指導者が一体となり、楽しく練習に励んでいます。サッカーはチームワークが

大切なスポーツで仲間との絆も深まります。初心者、女の子も大歓迎です。是非見学・体験に来てください。

練習日は火・水・金・土・曜日  
 曜日で土・日曜日は試合になることがあります。

代表 伊勢 元



## 西が岡バレーボール

西が岡バレーボールクラブは、「心一つに全員バレー」をモットーに、日々練習を通して楽しさや喜びを見だし、仲間を大切に活動しているクラブです。現在十七人の部員がいますが、全員が一丸となって練習に励み、今年は県大会出場を勝ち取りました。

そのときの子供たちの満面の笑みはとても素晴らしいものでした。練習日は水・金・土・日曜日です。是非遊びに来てください。



監督 石塚 容子  
 代表 田村 三穂

## 西が岡空手道

西が岡空手道クラブは、武道を通し、正しい礼儀を身に着け、たくましい心と身体づくりの空手のスポーツ少年団です。

練習は礼儀を中心に、その場基本、移動による基本、型による基本動作、拳サポーター使用による組み手など行っています。入部は、男女を問いません。子供たちに礼儀を身に着けさせたい方、あるいは興味のある方は是非見学に来てください。練習日は月・金曜日午後六時三十分から二時間、体育館で行っています。

師範 田仲 精一



# われらが自治会の自慢

## こども神輿(宝木町二の二自治会)

毎年十一月三日は宝木町二の二町内にある西岡神社の秋祭りが行われます。古来からお参りに来た方々に甘酒を振る舞って五穀豊穣を感謝・祈願していたのです。時代の流れとともに地域のつながりが薄れかけてきことから、人々の絆と地域のつながりの大切さを感じ取られるようになり、平成に入り子供たちに神輿をという声が自然に湧きあがり、宝木町二の二自治会が中心となり、氏子の皆さんや育成会と相談し、こども神輿を造り秋祭りにみこし渡御を始めたのです。爾来二十余年余りが受け継がれ、町内の伝統的な祭りとなっております。



今年も、子供たち約八十名と地域の方々を合わせて二百名が参加し、盛大に行われました。この神輿渡御は、一般の協力者宅を休憩所として七か所を設けていますが、それぞれの家庭で心こもった「おもてなし」を受け、まさに伝統的な行事として地域に根差しており、これからも継承されていくものと喜んでいきます。

## 婦人防火クラブ(西中丸自治会)

西中丸自治会の参加組織に老人クラブ、子ども育成会などありますが、特に婦人防火クラブの活動を紹介します。西中丸婦人防火クラブ(会長上澤昭子)は、二十名の女性で組織していますが、女性ならではのきめ細やかな特性を生かして安全・安心そして心の癒されるまちづくりのため活動しております。

クラブにはシンボルとなっている、真っ赤なジャンパーがあり、これを着て地域内をパトロールし道路交通の安全ときれいな環境づくりに、また、明るい笑顔での挨拶声掛け運動を展開し、向こう三軒両隣の大切さを訴えるなど、住民相互の安心安全ネットワークづくりに努めています。

一方、災害に備えて防火クラブの迅速適切な対応ができるよう、毎年薪を使用している炊き出しや消防署の協力を得て、AED使用の使用・応急救護手当の訓練を行い、技術向上を図っています。



# スポーツの秋

## 四十回目の地区体育祭

十月十三日宝木小学校で、二年ぶりに体育祭が開催されました。台風が去った秋晴れの日に多くの地区内の人たちが集い、熱戦が繰り広げられました。とは言っても普段スポーツに縁遠い方々が



多く、転んだり、なかなか入らない玉入れリレーなどもあり、楽しい競演の光景が見られ、住民の親睦が図られたと思います。成績は次の通りです。

- 優勝 宝木町二の二
- 準優勝 宝木町一
- 三位 宝木町二の一
- 敢闘賞 宝木町一の一

## 市民スポーツ大会

市民スポーツ大会が九月から十一月にかけて行われました。本年も多くの競技に出場しましたが、次のチームが入賞しました。

- 準優勝 バレーボール女子
- サッカー
- 第三位 ソフトテニス

## 安心・安全情報キット配布

宝木地区自治会連合会、社会福祉協議会が協力し、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、障がいのある方などに、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを記入できる情報シートを入れた専用のプラスチック容器(=安心・安全情報キット)を135名の方に配布しました。

これは、万一に備え、キットをご自宅の冷蔵庫等に保管していただくことで、緊急時の迅速な連絡手配・情報提供を図るというものです。また、キットを配布した後も、自治会や民生委員児童委員、福祉協力員など地域住民の方々の協力により、日頃からの見守り・声掛け運動を行うことで、誰もが安心・安全に生活できるまちづくりに役立っています。

希望される方は、お近くの自治会役員や民生委員に相談してください。



## 編集後記

自治会の活動は、地味ですが役員の方々は、懸命に住民をリードし頑張っております。そのような中で、今年は二自治会が市長から表彰を受け、役員の方々のご苦労も癒され励みになったのだと思います。今回自治会の自慢を載せてみましたがいかがでしたか。次回自慢をまっております。(お)